



## シラバス参照

講義名	ディープラーニングA		
(副題)			
開講責任部署	太宰府		
講義開講時期	春学期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	0.00
代表曜日	木曜日	代表時限	2時限
校地	太宰府		
科目分類名			
科目分野名			
対象学科・年次	経営学科 ・ 2年～4年次		
必須/選択			

## 担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 内保 光太郎	指定なし

学習目標(到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人工知能の歴史や問題について、説明できる</li> <li>・ディープラーニングのモデル・最適化法の基礎について説明できる</li> <li>・ディープラーニングの応用事例について具体的に紹介できる</li> <li>・G検定の過去問に正答できる</li> </ul>
授業概要(教育目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本講義では、ディープラーニングを含めた人工知能の歴史や問題から、これらの技術的な手法を学び、さらに、ビジネスへの応用までを網羅的に学習し、ディープラーニングに対する理解を深めていく。</li> <li>・データサイエンティストとしての教養を身につける。</li> </ul> <p>※ディープラーニングに関する知識を有する人を認定する資格「G検定」に対応</p>

## 授業計画表

回	内容
第1回	オリエンテーション
第2回	人工知能とは
第3回	人工知能をめぐる動向
第4回	人工知能分野の問題
第5回	機械学習の具体的手法
第6回	ディープラーニングの概要
第7回	ディープラーニングの手法① (活性化関数と勾配降下法)
第8回	ディープラーニングの手法② (様々な正則化)
第9回	学期中間のまとめ
第10回	ディープラーニングの手法③ (CNN)
第11回	ディープラーニングの手法④ (RNN)
第12回	ディープラーニングの手法⑤ (深層強化学習と深層生成モデル)
第13回	ディープラーニングの研究分野
第14回	ディープラーニングの産業への応用①

第15回	学期のまとめ
第16回	(定期試験)
授業形式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン授業（講義形式）で授業を行う。</li> <li>・パワーポイントによるプレゼンテーションを中心に講義を実施。</li> <li>・場合によって、プリント配布などを行う。</li> <li>・15回の講義において、レポート提出・小テストを実施する。</li> </ul>
評価方法	<p>定期試験+ 提出物+小テストにて決定</p> <p>※コロナの状況により、定期試験をレポート等に変更する場合がある。 ※2/3以上の出席がない場合は、単位を認定することができない。</p>
テキスト	<p>【図書名】ディープラーニング G検定（ジェネラリスト） 公式テキスト 第2版 【著者名】猪狩 宇司 【出版社】翔泳社 【価格（税込）】3080円</p>
テキストISBN番号	9784798165943
参考文献	必要に応じて、参考文献を授業で使用します。その際に、詳細は紹介します。
オフィスアワー(授業相談)	執務室に在室している時間帯は、いつでも相談可能です。事前に連絡を頂けると助かります。
学生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本講義では、実際にAIを導入した経験をもとに、実務における体験談などを織り交ぜながら、講義を実施します。</li> <li>・AI・ビッグデータ分析に興味がある方々は積極的に履修してください。</li> <li>・講義では、AI・ビッグデータ分析の概要を広く紹介していきます。</li> <li>・他のデータサイエンスの講義に比べると、「知識・理解」が中心の講義であり、覚えることも非常に多いです。</li> </ul>
準備学習の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業前に、授業範囲のテキストを読んでおく</li> <li>・授業で分からなかった語句を、授業後に調べておく（分からなかったものについては、先生に確認する）</li> </ul>

[ウインドウを閉じる](#)